



活動報告と交流会を行いました

2月5日(水)、市民活動推進事業補助金の交付を受ける13団体の代表者ら21人が参加して、活動報告と意見交換が行われました。

3年間の交付期間が終了した「碓氷峠鉄道再生研究会」、「笑顔で子育て支援の会」、「米山ミニフラワーパーク」が、事業内容と今後の展望について報告し、新たに交付対象となった「岩井重遠顕彰会」、「あんなかもりあげ隊」、「竹取物語」の3団体が、今年度の活動について報告しました。

交流会では、活動に対する市民の反応や手応えなどについて意見を交わし、異なる分野で活動する団体と、課題や問題点を共有しました。



市民活動表彰受賞者の皆さんおめでとうございます

2月17日(月)に市民活動の表彰が行われ、今年度は地域づくり、福祉、文化・教育に貢献した個人・団体の功績をたたえ、受賞者が決まりました。市民活動表彰制度は、長年、公益的な市民活動を自主的に行っている団体・個人を表彰するものです。



田島 喜久男(地域づくり)

毎朝約3kmの通学路を交通事故防止に配慮しながら、10年間にわたり子どもを引率し見守り活動を行っている。また、地域活動として自治会と連携して遊休地や県道沿いの花壇の除草、手入れを行い、子どもたちが環境を大切にする心を育てている。

音訳ボランティアグループかけはし(福祉)

視覚障害がある人のため「安中市災害対応ガイドブック」や、広報・おしらせ版を音訳している。また、交流を目的として、月ごとに本・雑誌・刊行物から3～10分程度の文章を選んで音訳し、希望者に提供している。

五料の茶屋本陣お西・お東友の会(文化・教育)

長年、史跡の保存活用に積極的に関わり、施設での特別展や各種文化財研修事業、会報発行など多彩な事業を進めている。また、これらの取組をもとに、全国に郷土の魅力を発信し、地域文化の継承にも取り組んでいる。

手話コーナー

今月は「群馬」の表現をご紹介します。
両手の人差し指を伸ばした状態で、体の斜め前に置きます(写真①)。

次に、馬の手綱^{たづな}を振り下ろすようなイメージで、下に2回動かします(写真②)。



(写真①)



(写真②)



市YouTube
手話チャンネル

VOL.37

問困福祉課障害福祉係(☎内線1154)